

2019年度

第2回

学校関係者評価委員会報告書

学校法人長野県理容美容学園
松本理容美容専門学校

第2回学校関係者評価委員会 報告書

日 時：令和2年3月12日（木）13：30～15：30

場 所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：(有)ミヨシ取締役社長 三好 政明先生

(有)大和インターナショナル代表 遠山 一行先生

小原校長・吉川事務局長・小口教務主任・桐山広報企画部長

○小原校長より

2019年度全体の見直しをして頂く会です。今後も認定校としての責任を持って学生達に今まで以上に満足してもらえる学校にしていきたい。今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

【議題】

1.2019年度第1回自己評価委員会報告

2019年度報告として、7月自己評価委員会において中間報告した項目に加え、全項目の周知すべき点の報告を行った。

(基準1) **総括** 令和2年度入学生、在校生へ「高等教育への進学支援」の指定校となる手続きを「長野県・文科省」の指示に従い推進した。職業実践専門課程の取り組みと連携していく。

「高等教育への進学支援」として令和2年2月10日現在在校生の13名の希望者がいる。

- ・31年度第11回全国技術競技大会・信越北陸地区大会
全国大会出場 美容 ワインディング 1名 ネイルアート 2名
理容 ワインディング 1名 クラシカルバック 1名 デザイン画 5名
全国大会優秀賞 ネイルアート部門 優秀賞 1名
エステティックコンテスト 応用部門 準優勝 1名
- ・少子高齢化による、学生募集に対する教職員の意識喚起が必要である。より充実した学生指導となる為に、教職員の「取り組みの指針」を共有した。
- ・「ビューコレ 2020」は在校生の学習成果を発表する機会と共に、県内の高校生に美容学校の取り組みを広め、入学動機につなげるイベントとしていく。
- ・長野校・松本校の教職員が一丸となって、在校生の学生成果を発表する機会として、令和2年度4月からの学生指導、学習指導の充実を図る。同時に両校の担当職員の連絡を密にして、当日までの準備を進める。在校生の少子化、サロンの人材不足の改善策につなげる。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・教育の成果がきちんと出ていると感じている。より一層高い基準を目指して、今年度以上に指導内容の向上を目指してほしい。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・業界として、様々なコンテストがあるため、今まで以上に学校と共同して実施できる内容を考えている。美容組合も連携できる形式にしていきたい。ビュー・コレ2020への協力も惜しまない。

今後の改善方策

- ・今年度以上の結果が出せるよう、職業実践専門課程認定校として、教育内容を検討していく。

(基準2) **総括** 令和元年 文部科学省「高等教育への修学支援」認定校となる。

- ・令和2年度9月に「ビューコレ2020」のイベントを企画した。
- ・「ビューコレ2020」を実行することで、教職員の連帯感を高め、運営方針に直結する、学生募集の改善策とする。
- ・長野校・松本校によるイベントへの役割分担を明確にして、協力体制を強化した。
- ・「ビューコレ2020」の主旨・目的について理事会・評議委員会において了解された。
- ・令和2年度光通信システムに切り替え、情報通信インフラの充実を図る。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方策

- ・光通信システムの導入を活用し、今後スカイプを利用するなど、会議の在り方も変化していくのでは。両校の意思疎通をきちんと出来るようにしていく。

(基準3) **総括** 増員した教員に必要な資格取得を推進した。資質向上を図っている。

- 美容科専修学校教員免許
- 文化論教員免許
- パーソナルカラー検定モジュール1
- A E A上級認定エステティシャン

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方策

- ・教員の育成に力を入れていく。若い人材育成をしていかななくてはならない。人材確保に業界からも協力をして頂きたい。

(基準4) **総括** 令和2年度に行う「ビューコレ2020」を長野校と連携して、実施計画を進めている。

- ・本校の特色として、県外の有名サロンにも就職可能であることが学生募集・在校生満足度につながっている。就職部中心に就職相談を密に行い、結果を出せている。高校生・在校生からの評価も高く実績がある。
- ・校長を中心として、学校支援サロン周りを実施していく。
- ・就職相談室を今まで以上に活用できる体制を完備していく必要がある。就職内定率100%を目指していく。
- ・31年度美容師国家試験 100%及び日本エステティック協会認定エステティシャン試験の合格率 100%達成を果たしている。
- ・パーソナル検定モジュール1 71名受験 58名合格 合格率 81.7%
- ・メイク検定 3級 86名受験 86名合格 合格率 100% 2級 86名受験 85名合格 合格率 98.3%
- ・ネイル検定 73名受験 67名合格 合格率 91.7% ・JHCAカラー検定 100%

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・いろいろな考え方の学生が居て、大変だと思うが、1番は自分たちの目指した職業の魅力・やりがい・楽しさを授業の中で伝えてほしい。実践的な内容をもっと積極的に取り入れてほしい。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・就職先の決め方について、仕事を迷った状態で入学しているのか？美容師をすごくやりたい強い想いの学生が少ないのか？→迷っている学生も居るが、就職部のサポート・担任からのアドバイスにより、内定率100%である。引き続き夢を持たすことの出来る学校にしていく。
職業選択の幅が広がっているなので、分散型にはなっている。(ネイリスト・アイリスト・ブライダルなど)
- ・ネイリスト・アイリストの給料体制は良いのか？→美容師と比較すると、給料体制・労働条件は良い。しかしモニター探しなどノルマが厳しいとの声も聞いている。
- ・学校支援サロンとの協力体制がしっかりしていて、即戦力のある人材育成の出来る学校であることが、特色となっていくのでは。

今後の改善方策

- ・就職内定率の高さ。就職活動のサポートについて、高校生からも高評価を頂けている。学校の特色として引き続き、力を入れていく。
- ・就職先への不安感を感じている学生も居る。今後、学校としてサロンワークにつながる内容を導入していった方が良く考える。シャンプー実習やアシスタント業務（タオルの畳み方・クロスかけ方・ご案内電話対応など）を学べるカリキュラム内容を検討していく。実務実習の効果的な方法も含む。

- (基準5) **総括** 令和2年度9月に長野校合同となる「ビューコレ2020」イベントを企画。
実施に向けての、委員会を立ち上げ予算計画・行事計画・授業計画を作成して、在校生と共に保護者、高校生に美容学校の学生成果を発表する機会となるように準備を進めている。
- ・令和2年度入学生、在校生へ「高等教育への修学支援」の指定校となる手続きを「長野県・文科省」の指示に従い推進した。
 - ・令和元年11月11日(月)保護者対象とした、授業参観を行った。(参加保護者11名)

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・働き方改革に伴い、業界が向上できる良い機会になっていると感じている。面貸しサロンの問題もあるが、自分たちの在り方がしっかりとしていく方が重要である。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・各サロン差があると思うが、変化しないサロンは自然淘汰されていくのでは。高校生から選んでもらえる仕事にしていかなくては。

今後の改善方策

- ・働き方改革の影響により、各サロンの労働条件・雇用条件も良い方向へ変化している。引き続き、就職ガイダンス時に、美容業界の発展していくことが、重要である旨を伝えていく。

- (基準6) 継続して、問題なく実施できている。校内6カ所に防犯カメラを設置した。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。防犯カメラは今の時代必要である。

(基準7) **総括**: 就職内定率の強化。学生募集ネット化の検討→学生募集の在り方が変化している時代(ネット化)

- ・本校の特色として、就職内定率100%。県外有名サロンへの就職の実績等が県外流出の抑えになると考える。今後、学校支援サロン周りを、校長・就職部中心に実施し、業界の向上。学生募集への協力体制を強化していく必要がある。
- ・2020年度実施のビュー・コレ2020に向けて、チラシ・ポスターを作成し、進路ガイダンス時に配布を開始している。
- ・HP・リクナビにも応募フォームを作成。高校生の参加を促す。
- ・県内高校・保護者・学校支援サロンに対し、ビューコレの案内をしていく。
- ・支援サロンの協力体制の強い学校として、2020年度パンフレット表紙のヘアメイクを依頼した。
- ・ネット化の流れをふまえ、ネット願書出願を目指し、業者の選定・方法を検討していく。
- ・AO入試方法・進路ガイダンスの在り方について検討していく。→高大接続改革の指針説明
- ・支援サロンの協力体制の強い学校として、2020年度パンフレット表紙のヘアメイクを依頼した。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・業界の在り方も変化している時代である。分業化が必要だが、本来の美容業の魅力をきちんと伝えることに力を入れながら、時代に沿ったサロン経営・業界にしていくべきである。
- ・中高生から支持してもらえる職業にするために、学校と今まで以上に協力をし、学生募集に繋げていく。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・ネイル・アイラッシュ・ブライダルは元々美容師の仕事。業界がもう1度在り方を見直していくべきである。学校と支援サロン(業界)の協力体制を、より強化し、魅力を発信していく必要がある。
- ・新規店オープン率: 全国20店に比べ、県内は8店である。全国平均を下回っている。サロンの在り方も変化している時代である。終身雇用の出来る業界作りをしていかななくては。
- ・業界のサミットにも協力してほしい。

今後の改善方策

- ・高校生の進路選択で、美容師よりもブライダル希望の学生が増加傾向である。業界として、ブライダル業務も美容師の仕事であることを、中高生のお客様にアピールしてほしい。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

2. 重点目標について（別紙1・2参照）

（1）2019年度重点目標実施報告

①就業規則の見直し ②指導の効率化 ③教育カリキュラムの充実

- ・働き方改革の取り組みとして、1年間の流れの中で、概ね就業規則に沿って実施できている。
- ・行事指導・コンテスト指導・低位の学生指導においても、教職員の連携により効率化が実践されている。
- ・産学連携カリキュラムの実践から2年間を終了し、スムーズな授業運営が整ってきた。今後は、今までの取り組みを活かした次年度への提案を授業内容に取り入れていく。

3月31日時点で30年度重点目標の実施状況の報告

2020年度も引き続き、重点目標を中心に向上していく努力をしていく。

学校関係者評価委員コメント 三好委員より

- ・適切に行われている。2020年度も引き続き教育内容を向上して行ってほしい
- ・実務実習の在り方について、学校の考え・意志をサロン側に伝え、理解してもらった上で受け入れてもらうべきである。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・産学連携を活かした教育カリキュラムにして行ってほしい。即戦力となる人材育成の出来る学校として特色をアピールしていくべきである。
- 国家試験対策に加えて、即戦力を強化する内容を導入していく難しさは理解している。

（2）2020年度重点目標

①ビューコレ2020への取り組み ②学生募集と就職指導の充実 ③教育カリキュラムの充実

本年度、入学者数が、昨年度より20名減少したことに危機感を持ち、職員全員で学校の魅力向上するための努力をしていきたい。

- ・在校生の学修成果が反映する機会として、ビューコレ2020に向けて、教職員一同団結して取り組む。満足度を高めるとともに、学生募集につなげる。
- ・学校の特色となる、県外有名サロンへの就職実績を高め、県外進学希望の高校生に対する本校への進学動機につなげる。
- ・産学連携授業カリキュラムの充実を推進。

学校関係者評価委員コメント 遠山委員より

- ・重点目標を軸とし、職業実践専門課程認定校としての即戦力・支援サロンとの協力体制を強化して行ってほしい。
- ・中学生の職場体験は、とても有意義な取り組みであるので、業界としても協力していきたい。

今後の改善方策

- ・2019年度より職業実践専門課程認定校として、質の高い学校となるよう、また、学校の特色づくりに力を入れ、重点目標を中心に、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・中学生職場体験において、サロン側の協力をお願いしたい。ナガコレ先生への協力体制。

3. 次回予定

2020年度第1回学校関係者評価委員会 令和2年7月9日（木） 13:30～